

2/2

子育て世代が働きやすくなる
まちづくりのために

信金中央金庫寄附贈呈式



信金中央金庫から企業版ふるさと納税として、1,000万円の寄附をいただきました。

この寄附は、市が実施する「子育て世代が働きやすくなるまちづくり推進プロジェクト」について、大田原信用金庫の推薦を受け、信金中央金庫の企業版ふるさと納税を活用した寄附金（SCBふるさと応援団）の対象事業として採択され、いただくこととなったものです。

寄附金は、「大田原市子ども未来館」の遊具更新および保護者が安心して働くことができる環境づくりに活用させていただきます。

1/13

子どもたちに読書の楽しみを

大田原信用金庫から寄附



大田原信用金庫から児童用図書購入のため、50万円の寄附をいただきました。

大田原信用金庫は、平成19年度から社会貢献活動の一環として児童用図書の購入のための寄附を毎年行っています。この寄附で購入した資料点数は5,244点になりました。

大田原図書館では、これらの資料を「だいしん文庫」として、子どもたちが読書を楽しむことのできる環境を提供しています。

2/8

先端技術を追求して地域に貢献

株式会社メックスから空気滅菌清浄機寄贈



矢板市にある、設備機器やセンサーの開発・設計・製造を行っている株式会社メックスから、新型コロナウイルス感染症の予防の一環として、空気滅菌清浄機が寄贈されました。

同社のシステムプランナーである秋葉 英夫氏が、先端技術を追求し、より利用しやすいようにと空気滅菌清浄機を設計、製作されました。

同社は、様々な技術開発を通して経済発展と社会的課題の解決に挑戦しています。

2/4

自宅療養者へ缶詰パン

株式会社パン・アキモトから寄贈



株式会社パン・アキモトより、新型コロナウイルス感染症の自宅療養者への支援物資として、防災備蓄食に最適なパンの缶詰「救缶鳥」の寄贈がありました。

寄贈品は、食料支援を希望する自宅療養者の方や、生活困窮などにより食料支援を必要とする方に提供させていただきました。

3/2

グラウンド・ゴルフ発展の功績を讃えて

スポーツ功労賞受賞報告



2月14日に令和3年度公益財団法人栃木県スポーツ協会スポーツ功労賞を受賞された刈生田 武氏が、市長を訪問されました。

この賞は、栃木県の体育スポーツの振興に貢献し、功績が顕著な方に贈られるもので、刈生田氏は、大田原市グラウンド・ゴルフ協会長を長きにわたり務められ、グラウンド・ゴルフの普及発展に貢献されたことで表彰されました。

2/16

小学校の新型コロナウイルス感染症の感染予防に

消毒液および石けんの寄贈



那須野農業協同組合および全国共済農業協同組合連合会栃木県本部から、市内の小学生や教職員が安心して学校生活を送れるようにと各小学校に消毒液(5ℓ)と石けん(120個)の寄贈がありました。

消毒液と石けんは、児童および教職員の新型コロナウイルス感染症の感染予防に活用します。

市史編さんだより vol.18

新型コロナウイルス感染症の猛威は、収まる気配がありません。

日本人は、こうした目には見えない災いを「疫病神」ととらえ、道や川を介して広がると考えてきました。集落の境界や橋のたもとに建つお地蔵さんは、集落の暮らしを守ってくれる存在でした。また、暮らしの中に潜む災害や病を除き平和をもたらす神仏に祈る機会を、四季折々の中に設けてきました。

今は少なくなった行事に、とうしんこう 庚申講やじゅうやこう 十九夜講があります。庚申講は、60日ごとに巡ってくる庚申の夜、人の体に宿る「三戸」という虫が天帝に罪を告げて命を縮めるというので、男性たちが、守り神の「青面金剛像」の掛軸を拝み、朝日が昇るまで寝ずに夜を明かします。また十九夜講は、女性たちが毎月19日の朝から晩まで如意輪観音の掛軸を拝み、ロウソクに火をともし念仏を唱和しました。お産が近い女性が短いロウソクを持ち帰ると、お産が軽いとされました。

佐久山の荒町・前坂には、阿弥陀如来像の掛軸を納めた厨子を、毎日一軒毎に回して念仏を唱える「一挺切念仏」という行事が近年までありました。寛文12年(1672)に下総国羽生村(現茨城県常総市)で行われ、荒町・前坂でも、同年に宝徳院(廃寺)で始められたそうです。各家は、阿弥陀様が巡ってくると団子を供え一本(挺)のロウソクが燃え尽きるまで念じました。特定の日ではなく、日々の暮らしの中で無病息災・家内安全・地域安寧を祈りました。現在のコロナ禍の生活を見つめ直す、地域の貴重な記録です。

民俗部会では、講の掛軸や念仏・和讃の歌詞を記録しています。皆さまの家や公民館などに残っていませんか、ぜひお知らせください。(民俗部会 木村 康夫)

問 文化振興課 TEL(47)5031

民俗部会調査速報⑥

～くらしの中の祈り 講・一挺切念仏～



一挺切念仏に使用した厨子



次の家に厨子を運ぶ様子